

## 映画〈飽和の中で〉 撮影現場スチールショット公開

6.25 戦争当時 71 人の学徒兵と北朝鮮正規軍との激しかった戦闘を扱った映画（製作：(株)太原エンターテイメント、共同製作：(株)ユビユフィルム、投資/配給：ロテショッピング(株)ロテエンターテイメント、監督：イ・ジェファン）が、主演俳優クオン・サンウ、T.O.P(チェ・スンヒョン)の撮影現場スチールを公開して話題になった。

連日寒い天気にもかかわらず慶南(キョンナム)陝川(ハプチョン)で進行中の撮影現場は、俳優らの熱演とスタッフらの熱気で暑く盛り上がっていた。この日の撮影はチャンボム(T.O.P)が学徒兵らに食糧を探してくるよう強要する場面と手榴弾でいたずらをしたカプチョ(クオン・サンウ)と学徒兵らが食糧倉庫を飛ばしてしまう場面だった。

実際使われている倉庫を爆破しなければならなかったため、陝川郡(ハプチョンゲン)庁の人々と製作チーム全員は静まって撮影現場を助けた。幸いドラマを通じてハンガリー爆発シン、光化門(クァンファムン)市街戦、ショッピングモール テロシンなどの大きいスケールを経験してきた製作陣のノウハウのおかげで余裕で初めての爆破場面を表わすことができた。

製作陣はこれから大きい爆発シンがたくさん残っているの、今回の爆発シンは開始に過ぎないとしひょっとして生じられる恐れがある小さい事故にも安全のために多くのリハーサルとカメラを追加で動員していると伝え、ドラマ以上のスケールと完成度で観客に見せたいと伝えた。

学徒兵カプチョ役を担ったクオン・サンウは“零下 10 度を越える寒い天気によって北朝鮮の人民軍を追いかける場面などで滑って頻繁な負傷はあったが、私より苦勞するスタッフらを見れば頑張られる。最善を尽くして臨んでいる。”と意欲を表した。

チャンボム役の T.O.P(チェ・スンヒョン)も、“今回は大きいスケールの映画で皆さんにお会いすることが出来て光栄だ。他の方や作品に迷惑をかけないように毎日撮影と練習を繰り返している。”と状況を伝えた。スクリーンを通じて一層成熟した演技を披露するために撮影に臨んでいる。

一方、ブロックバスター戦争実話は 6.25 戦争当時 71 人の学徒兵と数百人の北朝鮮正規軍との激しかった戦闘を扱った作品で、国のために大切な命を捧げた若い学徒兵らの勇気と崇高な死を再照明する戦争実話。2010 年に公開される予定だ。

